

# 知っておきたい！ わが家の金銭教育

## ～子どもの金銭感覚の育て方講座～

日 時：令和3年12月1日（水）10：00～12：00

場 所：名田島地域交流センター

講 師：中村 久枝 氏（山口県金融広報アドバイザー、ファイナンシャルプランナー）

受講生：大人25人



### <講座内容>

家庭での金銭教育において、子どもたちにお金の大切さを伝えるために必要なことは何か、各テーマごとに受講者自らが考え、グループで意見交換を行いながら学びました。後半「カレー作りゲーム」を行いました。



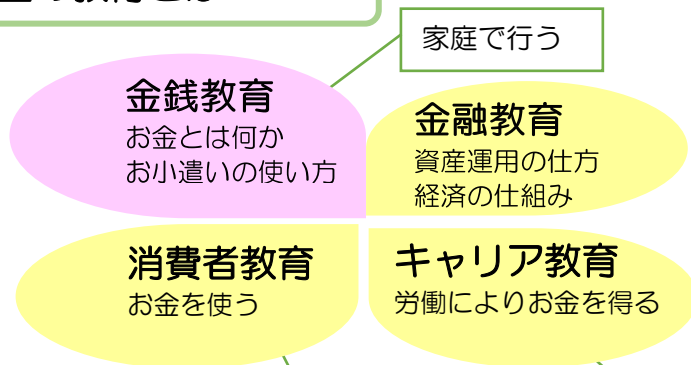
#### 自己紹介

私はファイナンシャルプランナーの資格を50歳で取得しました。  
やりたいことを始めるのに年齢は関係ありません。

お金の仕組みにおいて、若い時から知っておくことはとても大事。  
将来を考えて今、行動することも大事です。親がしっかり学んで子どもに伝えて欲しいです。

「やったらいい」とわかっているだけでなく、いかに行動に移すことができるかが大事です。一步を踏み出して！

### お金の教育とは・・・



消費に関する困りごとを解決するために、「消費生活センター」の存在を知っておいて！

「自分のできる事」を社会に認めてもらうために、「履歴書に書ける形」にしよう！ ➡ 資格取得など



### 金銭教育・金融教育とは・・・

金銭教育は、ものやお金を大切にすることを通じて、お金や労働の価値を知り、感謝と自立の心を育てることによって、人間形成の土台作りを目指す教育である。金融教育は、そうした金銭教育の伝統を十分継承しながら、実践的な消費者教育やキャリア教育、さらにはマクロ的な金融・経済の把握といった要素を取り組みながら組み立てられている。その意味では金融教育は金銭教育を抱合し、より幅広い内容に発展させたものと位置づけることができる。

お金教育はまさに、**生きるための教育**なのです。

これらを理解し、家庭では主に、金銭教育としてお金とは何か、おこづかいの与えかた、使い方、お金を使うべきシーンとはどういうときかを子どもに教えましょう。

### 家庭教育のポイント

- 子どもはいきなりできるものではない。**興味を示したときを逃がさず、与えることが大事。**
- 先入観を取り払い、新しい視点、**柔らかいものの見方**をもって子どもと関わって欲しい。
- 足りないものをすぐ買わずに、あるもので作ってみる。**発想を変えて工夫することが大切。**
- 日頃の子どものすることに、「すごいね」と反応してあげよう。
- やっとならいいと思っていることを、実際に一歩踏み出すことが大事。

自分で気づくことが大事です！ワークにより気づきを促します。

## グループワーク

**ワーク** 親から受けた金銭教育だと思えることで・・・良かったこと  
親から受けた金銭教育だと思えることで・・・良くなかったこと

- 「自分は、親から特別な金銭教育を受けた覚えがない」という方も多いかもしれません。日々の中で何をどう言われていたか、今の自分にとって何が良かったと思えるかに気づいてください。良かったと思えることを参考にしてください。

**ワーク** 子どもの金銭感覚はなぜ必要だと思う？

- 先を見通す力をつけましょう。

**ワーク** 必要な金銭感覚、自分と比較してどう？

- ①自分は出来ている      ②自分にはできていない

- 親ができていないことを子どもにさせようとしていませんか？
- 親が実行する姿を子どもに見せることが金銭教育の第一歩につながります。



## おこづかいについて

いつ、いくらあげるかをどうやって決める？

ポイント

親が自分ルールで決めていませんか？

我が家のルール作り ～目的を明確に～

■何のためにお金を使うか、年齢で決めず、都度目的を明確にしましょう。

■どこまでを子どもに任せるか、「与え方、使い道、金額」を親子で話し合っ



ポイント

優先順位をつける ～本当に必要なもの？～

その順に使っていく⇒管理

■子どもの話に耳を傾け、そのニーズについてしっかり聞いてあげてください。

■工夫の仕方は、自分が「親から教えられて良かったと思った経験」をもとに、各々の家庭で考えていきましょう。

■将来を見据えて目標設定をすることが貯蓄につながります。

おこづかいを管理すること⇒先を見通す力を育む

必要かどうかを考える⇒ニーズとウォンツを考えてください。

ニーズ 必要なもの・・・「おなかが空いた」

ウォンツ 欲しいもの・・・「ステーキが食べたい」

⇒本当に「ステーキ」が必要かどうか？

ルール作りのポイント

●親子で話合っ

●決めたことを変えない

●報告させること



金銭感覚の身につけ方一例

- ・青年期に一人暮らしを始めた時に、一年分の生活費100万円をまとめて前渡して管理させてみる

## お金って何？

■お金で損をしないためにどういう使い方をしたらよいか考えましょう。

■年金についてなど、若いうちから仕組みを知っておくことはとても大事です。

(お金のしくみ豆知識)

⇒ドル建て、円建ての両方で貯蓄してみましょう。その時々で価値が高い方で買い物するなど

※72の法則

⇒利率〇%のとき、預けたお金が二倍になるのにかかる年数を出すことができます。

$\frac{72}{\text{〇}}$  =年数

利率8パーセントの時には9年でしたが、現在0.001パーセント。銀行に預けているだけでは72000年かかってしまいます。運用がおすすめ。

## どうやって教える？

なぜ、ガソリンが高くなると思いますか、その原因は？

答えはドルと円の関係にあります。円安が輸入品の価格を高騰させます。為替の変動に注意してみよう。

●日頃からお金に関わることに関心をもつことが大切！

声のかけ方例

「今日はガソリンが〇〇円。昨日より上がってるね。新聞をみてみよう」

実際に子どもが自分で見るように促す。

継続して何度も声をかけて、関心を持たせてみよう。

「お金の仕組みっておもしろい！」と、子どもが興味を持ったならその時がチャンスです！

ワーク

## カレー作りゲーム



カレーづくり条件

山口家ではビーフ（牛肉）カレーが大好きです。材料は牛肉、玉ねぎ、じゃがいも、にんじんが入っています。そんな両親のために作ることにしました。予算は１０００円です。あなたの買い物は？

グループで意見を出しあい、代表者が自分のたてた買い物計画を発表しました。

| 買ったもの | 金額 |
|-------|----|
|       |    |
|       |    |
|       |    |
|       |    |
| 合計金額  |    |



それぞれ工夫した意見が出されました。

ポイント

- ビーフカレーを作ることが目的ではありません。両親が喜ぶところは何でしょうか。  
→一番嬉しいのは、子どもが作ってくれること？材料にこだわる必要があるのか？
- これにあてはめなければいけない、と、考えをしばられていませんか？
- 「割引で半額の肉を選べばいい」など、子どもは柔軟に対応します。
- 正解はありません、誰かと同じでないといけないという価値観を崩しましょう。

その他、高額医療制度や遺族年金制度についての情報を交え、常識を覆す考え方のご説明（保険のムダについて）がありました。



- ☆ニーズ（必要）とウォンツ（欲しい）をその都度考える
- ☆目標（目的）を定め、自分の考え方で実行していく習慣を身につける（誰かと一緒になくていい）
- ☆親の考え方ではなく、子どもの考え方を尊重する  
⇒子どもの話をよく聴く、認める（否定しない、信頼する）





☆お金の使い方によって、使えるお金の量、お金に対する価値観が変わっていく

☆長い人生の間には、小さな差が積み上がり、大きな差となっていく

**これを教えるのが金銭教育であり、親である皆さんの役割です！！**

子どもは今、育っている最中です。  
どのように、育てる（金銭教育）かは、皆さんに掛かっています。  
水をやり、肥料をやって、皆さんの思っている金銭教育を。



**教え育てることをしっかり意識して**

講座の様子から

2時間の講座の間、随時グループワークを行いながら講義をしていただきました。各グループにおいては皆さん活発な意見交換の様子がみられました。

※新型コロナウイルス感染症対策として以下を行いました。

・受付にて検温・体調の確認・手指消毒の奨励・講座中および休憩時窓の開放による換気

## アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介

- ★日々、いろいろな場で金銭教育ができること、金銭教育がその子の自立や幸せに結びついていること、とにかく一歩を踏み出してみること、たくさん勉強になりました。帰って早速、カレーライスのクイズをやってみようと思います。
- ★固定観念を捨てて、親も子も将来を見据える力が必要だなと思いました。
- ★大変分かりやすく、楽しく学べました。実際にグループワークをしてみたことで、今後すぐに実践していけそうです。ありがとうございました。
- ★今日の講義を受けて、子どもの意見を尊重し、子どもと話し合い、ルールを決めていくことが大切だと改めて感じた。お金についてどうやって伝えたらよいか分らなかったが、日々の関わりの中から教えていけるのだとわかり、肩の力が抜けました。
- ★講師の方の家庭での話や、同じテーブルの方の意見がとても参考になりました。今は4歳ですが、そろそろ買い物や数に興味が出てきました。今日の講座を頭に入れながら、家庭でどの様に教えていくか考えてみたいです。
- ★まずは夫婦間で、どのようなことを子どもに伝えていきたいか、考えて話し合いたいと思いました。
- ★子どもに教える前に、親が知り、実践しておかなければと思いました。日々の生活の中での気づきを大切にして、子どもにも伝えていきたいです。